

基礎講座ニュース

第1回 オリエンテーション・講座

日時 4月24日(木) 受講者 12名 考える会 6名

◎講座内容

「学童保育の目的・指導員の役割と職業倫理」

ねらい：働く保護者の切実な願いから生まれた学童保育。

その役割を確認するとともに、子どもたちに毎日の継続

した生活を保障する、学童保育指導員についての仕事の基本を学びます。

★オリエンテーション

- ・年間計画
- ・受講にあたって
- ・振り返りシートについて
- ・自己紹介

学童保育は社会的に認知された公的な施設であり、指導員は専門職です。

- ・指導員の行動や言動は子どもや保護者に大きな影響を与えます。
- ・保育前、保育中、保育後の打合せや引継ぎ、日々の保育記録を書き、共有すること

◎受講者からの振り返りシート・感想より(一部抜粋)

- ・指導員の役割、子どもと保護者との関わりの重要性を知れたことにより、こどもに対しては、ただ遊ぶだけではなく、こども達の成長を支えられるように日々、学習し、自分の保育に自信が持てるようにしたいと思いました。
1つのことに集中しすぎて周りが見えていないので全体を把握できるようにして、保護者の方にこども達の様子を伝えたりしたいと思ったし、もっと積極的にコミュニケーションを取っていこうと思いました。
- ・プライバシーや、個人情報には本当に責任を持たないといけないなと思いました。家族や友人、公共の場所で学童の子の名前を言わないようさらに気をつけていかなければいけないと思いました。
保護者とのコミュニケーションに苦手意識を感じている部分があって保護者目線からどう見られているのか不安に感じる事があった気がします。講座を学んで保護者との信頼関係も大事だなと感じさせられました。
- ・1年目の初めに聞いた学童保育の目的と役割、職業倫理をもう一度聞くことができて保護者が安心して働けることができ、その過程を守る役割を担っているという大事なことを改めて意識することができました。
- ・子どもの権利について考える時にいつも悩むことは、学童の決まりと本人の自由とのバランスです。大切なことは、私自身が「決まりを守ってほしい」と思うことに沿ってもらうのではなく、なぜ学童でその決まりが出来たか、その子がなぜその決まりを守れないのか、など考えていくことだと思いました。
- ・前回も学びましたが、「安心して働きたい」「子どもに豊かな放課後を過ごせたい」という保護者の願いから始まった学童保育に関わる者の1人として、一人一人の子のベストをみんなで情報共有しながら一年かけて探していきたいと改めて思いました。

次回は、5月22日(木)・5月29日(木)に行われた、第2回の講座について、お伝えします。